

コレセプター転換またはCCR5への結合を可能にする変異によるMVC耐性

- マラビロク（MVC）耐性はコレセプター使用の変化、またはgp120のCCR5への結合を可能にする変異によって生じるMVC耐性の2つの機序
 - ウイルスが侵入するためにCXCR4コレセプターを使用し始める場合がある。
 - マイナーバリエーションであるHIV株が体内で主流になることで生じる。
 - HIV指向性検査（遺伝子型または表現型検査のいずれか）で検出可能である¹。
 - MVCが結合したCCR5受容体にgp120が結合することを可能にする変異が生じる。
 - 通常、変異はgp120のV3領域に生じる²。
 - gp41にも変異がみられる場合がある³。
 - envにさまざまな変異がみられる。
 - 遺伝子型に基づく予測ルールは作成されていない。

1. Raymond S, et al. *AIDS*. 2008;22:F11-F16. 2. McGovern RA, et al. *AIDS*. 2010;24:2517-2525.

3. Anastassopoulou CG, et al. *Proc Natl Acad Sci USA*. 2009;106:5318-5323.